



# 碧南ロータリークラブ週報

第2394回例会 平成20年1月23日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

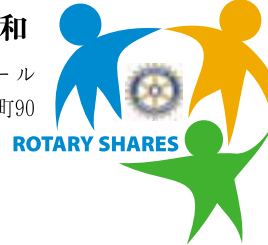
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは  
分かち合いの心**

## ● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

## ● 本日のお客様

卓話講師 碧南市陸上競技協会 斎藤 恭子氏



杉浦勝典副会長

## 副 会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。

今日は鈴木会長がお見えになりませんので、代理に挨拶をさせていただきます。

最初に今日のお客様は、斎藤恭子さん、碧南市陸上競技協会講師の先生です。よろしくお願ひします。

せっかくロータリーの皆様の前で、挨拶をする機会ですので、ロータリーの事をお話ししようかと思っておりましたが、私より先輩の方々が大勢お見えになる中で今さら私がロータリーの話をするより、皆さんの方がお詳しいと思い、私の知っている範囲のお話しと申しますと、私の業界のお話しを少しさせて頂きたく思っております。

瓦が渡来してからすでに1400年位になるわけでありまして、瓦は仏教と同じ様にして、渡来があったという形であります。

仏教は、インド・中国、そして百済、今の朝鮮半島を経て日本に来たわけでございます。

昔は今より、物流というか、輸送面については困難でありましたので、産地の所に良い土があるとか、良い木があるとか、そういう所にお寺が建立されたと聞いております。

そういう意味で、北海道を除いた本州のいたる所で、寺院が建っている所には、瓦を作っていると言われていた訳であります。

瓦は、全国でどのくらい使われているかと言いますと、一番多く使われていたのは昭和49年のオイルショックの時に工業統計で、4人以上の従業員を有する企業の統計として約20億枚でした。愛知県ではその時の全国総数の4割の8億枚を出荷していたというデータがございます。では、現在はどうかと申しますと、全国総数で8億枚位になっています。全盛期に比べて4割に落ち込んでいる現状であります。

そのような中で、愛知県は比較的設備の合理化とか価格競争の色々な面で、一生懸命努力したおかげで、他の地区の産地とか、今まであった産地が消滅してその製造をしていた人が、屋根葺の生業に代わって頂いた形でやってきました。

今、現在愛知県では、全国の8億枚の内、5億枚と大きな数字でありまして、約6割から6割5分近くを愛知県で占めています。

その他の産地として、島根県に石見という所がございまして、石州瓦といひます。後は、兵庫県の淡路に淡路瓦、その他には北陸とか、関東、東北、四国、九州と色々な所にあるわけであります。

そのような中で、愛知県も昨年は、4件の倒産業がありまして、これはなぜかといひますと、今日の夕方6時10分からのNHKテレビの「ほっとイブニング」で放映して頂けるんですが、放送内容としては「原油高に対する業界の対応」ということで取材を受けました。

私どもの業界での油・ガスの燃料費が3年位前の約二倍になっています。例えば、原価を100として、以前は燃料費が15%かかっているのが、今、現在では30%かかってしまうので、大変きびしい状況になっている。その影響により、県内で4件のやめる人、倒産する人、店を閉める人等が、全国にも10社位あるわけで、非常に我々としては、大変な年になると思っております。

我々の業界も、今までは瓦を扱って頂く問屋だとか、工事屋さんが主なお客様ではございまして、現在もそうなんですが、この頃はハウスメーカーとか、地域ビルダーとかが、瓦を指定する。瓦のメーカーも指定して頂かないと、なかなか売れないのでハウスメーカーに売り込みする訳ですが、住宅も過当競争で非常に安売り競争に入っている中で、屋根材だけ価格を上げるということは、なかなか上げていただけない訳です。

そのような状況で、非常に我々は苦戦している訳であります。これだけ油が高くなるとなんとしても値上げをしていかなければという思いでいるんですが、色々と業界の中では、足並みも揃いません状況であります。

この頃、パンも10円位高くなると聞いています。昔からの物価の優等生というニワトリの玉子か瓦かと言われた事がありました。

その頃も、豆腐の値段と瓦の値段がだいたい一緒だとか、まんじゅうと瓦の値段が一緒だとか言われていました。

現在では、卸し価格ですが、豆腐でも300円位であり、パンでも100円から110円位になっています。

我々、瓦業界が、大口の卸だと100円から120円位で卸しており、これを2〜3割上げてもらいたいと思っております。

そのような状況の中で、一生懸命「苦戦」しているのが、我々の業界であります。又、今年マイホームに追い風という形として、優遇税制が延長されましたので、皆様方にもお家を造られると共に、是非、息子さん、娘さんにも御結婚のためにもお家を造って頂きたいと思っております。そして、生前贈与が3500万円まで無税であり、新しい家を造ると登録税、固定資産税等が半額になるという事が決まっております。そういう意味で、多少政府の方で、色々な面で補助していると思われる。その他、省エネ対策では、上限200万円の中で1%。その位5年間に亘って税制も優遇をしてくれる。又、今の福田総理が「200年住宅」ということを言ってくれています。これは、25年から30年位で建替えられていたのをもう少し長く、超耐久性のある住宅をとってもらっています。

粘土瓦というのは、50年、100年持つので、そのような面でもアピールしながら、色々な形を考えていますが、なにしろ我々、力が足りない中で、今後どのように拡販していこうかと思っております。

本日は、自分達の業界の愚痴の話で大変失礼致しました。

御清聴ありがとうございました。

## 幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・碧南警察署より感謝状を頂きました。1月9日付でございます。
- ・本日例会終了後、201号室にて50周年実行委員会  
正副委員長会議を開催します。



石橋嘉彦幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数78名(内出席免除者11名の内出席者5名)出席者60名	
出席対象者 60/72名	出席率 83.33%
欠席者18名(病欠者1名)	前々回修正出席率 95.52%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 長田 昌昇君 講師の斎藤様をご紹介します。長田豊治様、竹中義雄様にお世話になりました。
- 杉浦 晴彦君 クリスマス会の時の写真を頂きました。
- 平岩統一郎君 東京日比谷公会堂の交通安全中央大会で、会社が表彰されました。  
会員の鈴木並生さんにお世話になりました。
- 木村 徳雄君 1月16日碧南青年会議所OB新年総会が無事に終える事が出来ました。  
今年OB会会長をさせて頂きますので、関係者の皆さん宜しくお願い致します。
- 平岩 辰之君 1月13日(日)に息子の成人式が無事に終わりました。
- 杉浦 昌裕君 良い事がありました。

## 卓話

### 「走りとお逢い」

碧南陸上競技協会 斎藤恭子氏

こんにちは、主婦でマラソンランナーの斎藤恭子です。

今日は大先輩のみなさんの前でお話しすると言うことで、恐縮してとても緊張しています。講演のお話をいただいた時は、お役に立てるようなお話はできないし、走ることは得意でも人前で話をするのは大の苦手なのでお断りしようかすごく悩みました。でも人生の経験として自分の勉強だと思い挑戦することにしました。



今日は一生懸命にお話しますので、よろしくお願ひします。本題へ入る前に、去年の12月に万博の跡地で行われた愛知駅伝の結果をお話したいと思います。今回で2回目の大会です。碧南市は実業団や有名な大学の選手がいない中でも、みんなが力をひとつにしてタスキをつなぎ、64チームの中で1回目は8位入賞、今回は12位と大健闘でした。私も一般女子の20才以上の区で、2年連続走らせていただきました。碧南市のみなさんから力強い応援をもらいとても嬉しかったです。応援ありがとうございました。

今日は好きな走ることで、いろいろな出逢いがあり、経験していることをお話ししたいと思います。私が走り始めたきっかけは、娘たちがいつも頑張っているのも母親として私も負けずに頑張りたいという気持ちと、私の双子の妹がマラソンを走っていたので私もいつかマラソンを完走してみたくなったからです。

最初は短い距離でも苦しかったのですが、毎日続けて走るうちにペースも速くなり距離も走れるようになりました。練習を重ねて、マラソンへ出場するために公認の記録を出して資格をとり、今から9年前、名古屋国際女子マラソンを走りました。初マラソンは大失敗でした。自分の力も知らずに自信満々でした。スタートから早いペースで飛ばしていったのはいいのですが、後半スタミナが切れてしまい、突然体が思うように動かなくなり、失速してしまい、意識が遠のいてい

くのです。睡魔と寒さでふらふらになり、このままやめて地面で寝てしまいたい気持ちです。

でも沿道のみなさんの応援のおかげで、ゆっくりだけど一步一步走り何とかゴールへ辿りつくことができました。100人近く抜かれ、すぐ後ろには救護者がつき、ビリから2番目でした。悔しくて涙がこぼれました。とても苦しくて辛い初マラソンでした。マラソンの難しさを心と体で知りました。

それから悔しさをバネに走り込み、4年後の同じ大会で夢のサブスリー（3時間を切ること）を達成することができたのです。あの初マラソンの失敗があったから今の走りがあると思います。今度はもっと速く走りたいと強く思うようになりました。娘が小学5年生の時にへきなん陸上クラブへ入会したことがきっかけで、走ることを専門に指導している監督さんと出逢うことができました。実業団で活躍されて多くの選手を育てている監督さんですので、とても厳しいですが教えていただくひとつひとつが本当に勉強になりました。競技者としての真剣な取り組み方、苦しいとき辛いときに耐える忍耐力、自分自身に負けない強い精神力、心身共に鍛えていただきました。

今までやってきたことをすべて見直し、競技者として真剣に取り組めるようになりました。生活面では食事、睡眠、ケア、故障しないように、貧血にならないように、健康管理をしっかりとやり、練習面ではフォームを改善し、アップ、ダウン、ストレッチ、筋トレ、練習メニューに従って猛練習しました。特にスピード練習ではタイムとの戦いで、心拍をあげるのでやめたくなくなるぐらい苦しくて辛いものでした。

与えられたメニューをやりとげることで、練習が終わるとやってよかったという充実感と同時に、自信が持てるようになりました。半年後、5000m、10000m、ハーフマラソンですべて自己ベストで走ることができ、目標のマラソンで今までのタイムを7分近く縮めることができました。とても嬉しくて、今度は嬉し涙がこぼれました。

苦しさの後には必ず喜びがやってくること、練習は裏切らないこと、目標に向かって努力していけば、いつか必ず達成できることを自分の力で経験することができました。マラソンのスピードをつけるために、トラックレースにでるようになりました。それが、マスターズの大会です。マスターズは現役を引退した選手がずっと競技を続けるために、30才～104才まで、5才きざみで自分の年齢の中で記録へ挑戦できます。県大会、全国大会、世界大会を目指することができます。年上の方でも、みなさん生き生きしているんです。

私の知っている女性の方は、去年80才で100mと幅跳びの日本記録を達成されました。とてもすごいと思います。無理をしないで練習とケアを毎日続けているそうです。毎日体を動かすことと、大会へ出場して記録を更新するという目標、仲間との交流が、いつまでも元気で健康でいられる源だそうです。私も負けられないように頑張りたいと思いました。

自分が現役を引退してもずっと走ることにこだわっていきたくないので、子供が陸上クラブへ入会してから監督さんの勧めで、週3回、碧南市の陸上クラブの子供たちの指導を手伝っています。教えるなんて初めての経験なので難しく大変でしたが、かまえず自分のやり方でできることをやろうと思ったら気持ちが楽になりました。今では慣れてきて子供たちとの距離も近くなり、楽しんでできるようになりました。一緒に走りながらアドバイスをしたり、自分の経験から頑張ることの大切さや苦しさを乗り越えることの喜びなどを話したりしています。

クラブ活動は5年目になります。子供たちも練習で力をつけ、県大会で上位入賞できるようになってきました。愛知駅伝では、4年生からずっと頑張ってきた6年生の女の子が愛知県トップの区間賞をとったのです。自分のことのように嬉しかったです。とても強くなったので一緒に走ったら負けてしまいそうですけど、子供たちが強くなっていくことの手助けができることに喜びを感じるこの頃です。

審判の資格も2年前に取得しました。

今まで選手の立場でしか分からなかったのですが、思っていたよりもずっと地味で大変な仕事です。審判の方の運営によりレースがスムーズにでき気持ちよく走れます。

今年の11月にレディースの全国大会が愛知県で行われます。女性審判員が主でやることになっているので、これから勉強と経験を積んで、選手のみなさんが気持ちよくレースできるように努力したいです。

碧南へ引っ越してきて9年になります。

こちらへ来てからの出逢いによって、生きがいとこれからずっとやっていきたいことを見つけることができました。私はそんな碧南のこの土地がとても気に入っています。

私が走れるのは自分の力だけでなく、走りのすべてを教えてくれた監督さん、マスターズで元気に活躍されているみなさん、これから可能性をいっぱい秘めた子供たち、私を応援して下さるみなさんからエネルギーをいただき、支えられているから頑張れるのです。これからのランナーとしての目標は、3月の名古屋国際女子マラソンをベスト記録で走ること、夢はマスターズのマラソンを日本人トップで走り、世界大会へ出場することです。

足が動く限り、元気で走り続けたいです。そして碧南の子供たちの陸上の指導、審判活動、ささやかな力ですがお役に立っていきたいと思っています。よく過酷なマラソンをどうして走るのか聞かれます。それは苦しい練習を乗り越えて、スタートラインに立てた時の喜び、ゴールできた時の熱い感動が忘れられないからです。

これからも夢に向かって走り続けます。本日はありがとうございます。

**次回例会案内 平成20年2月6日(水)**

**クラブフォーラム「WCS活動について」**

**RI第2760地区世界社会奉仕委員会 委員長 籠橋美久氏**